

2

日本の農業(1) 米 穀物 いも類

地図でワーク

- ◆ () にことばを書きなさい。
- ◆ 米づくりがさかんな平野・盆地をきみどり色でぬりなさい。

「ななつぼし」「きらら397」「ゆめぴりか」を栽培
客土による耕地改良

(1) 盆地

「ななつぼし」「きらら397」「ゆめぴりか」を栽培
客土による耕地改良

(2) 平野

「あきたこまち」を栽培
はちろうがた かんたく 八郎瀉の干拓

(6) 平野

「はえぬき」「つや姫」を栽培

(7) 平野

「コシヒカリ」を栽培
はいすい かんてん あんきょ排水により乾田化

(8) 平野

冷害を引き起こす風

(4) ()

「ひとめぼれ」を栽培

(5) 平野

干拓により耕地を広げる

(9) 湾

干拓により耕地を広げる

(10) 海

かざんばい 火山灰でできた

(11) 台地

基本チェック

◆ 次の()にあてはまることばを書きなさい。

- (1) 米は夏に高温になり、()が多くなる日本の気候に合った作物で、長い間日本人の主食になってきました。
- (2) 米づくりの作業のうち、田に水を引き、土を平らにならして水田をつくることを()といいます。
- (3) 米づくりの作業のうち、水田の水をぬき地表をかわかして根を強くすることを()といいます。
- (4) 稲穂が色づくころになると、()という機械を使い、稲かりとだっこくを同時におこないます。
- (5) 日本で稲作が特にさかんな地域は()地方で、全国の生産量の約4分の1をしめています。
- (6) 冷害が起りやすい地方でも育つ稲になるように、長年にわたって()がおこなわれてきました。
- (7) 日本の伝統食品のとうふやみそなどは、()を原料としてつくられます。
- (8) すずしい気候に適したじゃがいもは、()で生産がさかんです。
- (9) さつまいもは、昔、「薩摩国」とよばれていた()県で、さかんに生産されています。
- (10) 地元でとれる農水産物を、地元で消費しようという考え方を()といいます。

◎ 書けなかったことばを下に練習しましょう。

まちがえやすい!!

●稲作の作業

- ・(①) …田を耕し、肥料を入れること。
- ・(②) …色づいた稲をしゅうかくすること。
- ・(③) …稲からもみ(米)をはずすこと。

★おぼえておこう!

●稲作に使う機械

- ・(④) …田起こしと代かきに使う。
- ・(⑤) …田植えに使う。

?知っているかな?

●米のつくり方

- ・(⑥) …1年に1種類の作物だけつくる。
- ・(⑦) …1年に2回米をつくる。
- ・(⑧) …米をつくったあと、裏作として麦やい草をつくる。